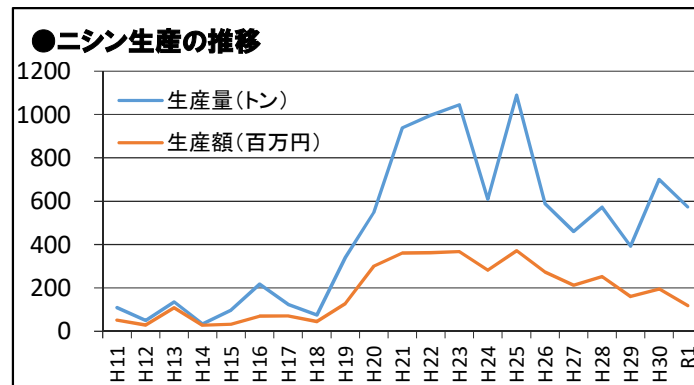
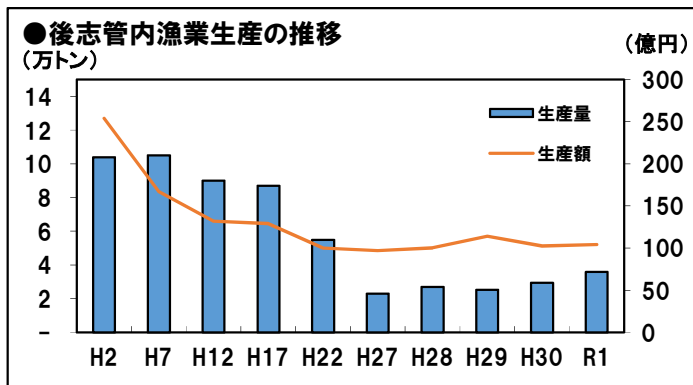
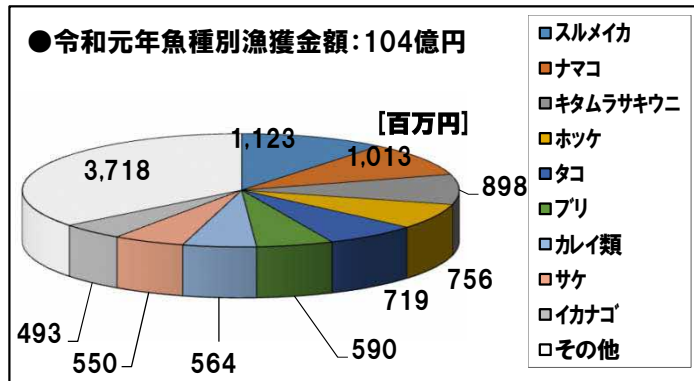
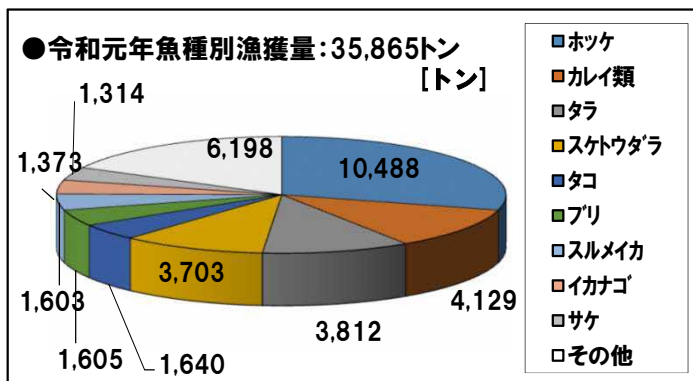


4 後志の水産 FISHERIES

主要魚種のホッケやスケトウダラ資源の減少やトドによる漁業被害などにより漁業生産が低迷する中、サケやニシン、ヒラメ等の種苗放流により、つくり育てる漁業の取組が進められている。

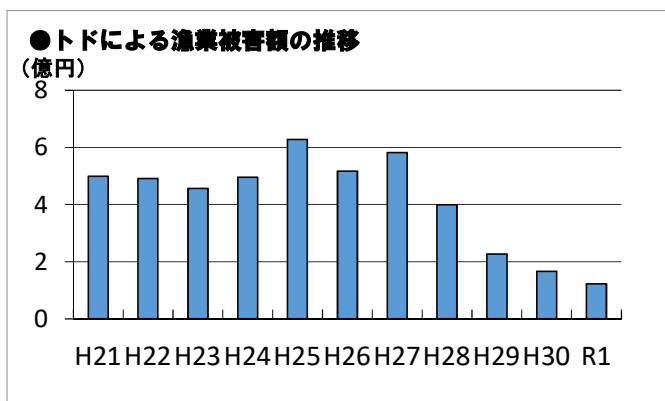
■ 漁業生産の概要

- 管内の令和元年の漁業生産は、35,865トン（全道生産の3.3%）、104億円（全道生産の4.4%）。
- ホッケ、カレイ類、タラの上位3魚種で管内の全漁獲量の5割近くを占める。



■ トド被害対策

- 後志管内の沿岸に秋から春にかけて多くのトドが来遊し、各種刺し網漁業や底建網漁業に多数の被害が発生。令和元年の漁業被害額は約1.2億円（全道の約12.9%）。
- 被害軽減のため、強化網の導入やトドの駆除、漁業者ハンターの育成などを推進。



■ 日本海漁業振興対策

- これまでと同じ回遊性資源を主体とした生産体制を維持することは難しい状況。
- このため、漁業生産の安定や増大に向け、短期間で計画的かつ安定した水揚げが見込める養殖業と他種漁業の組み合わせによる複合的経営や水産物の付加価値向上など、新たな生産体制づくりを推進。

